

9 観 光

管内は、「大雪山国立公園」など4つの自然公園を有し、山岳や湖沼、温泉など自然や観光資源に恵まれ、道内外の皆さんに親しまれています。最近では、アウトドアスポーツや農業体験など体験型観光も盛んになっています。

北部地域では、朱鞠内湖・天塩川流域の豊かな自然や農村風景を背景に参加・体験型の観光開発が進められています。

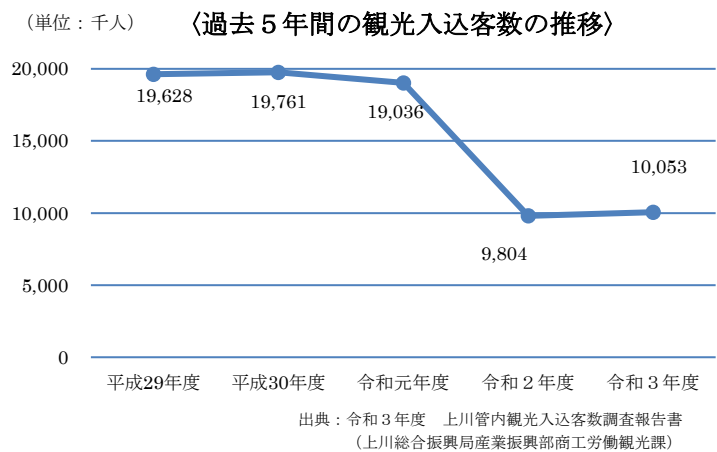
中部地域には、道北の経済の拠点である旭川をはじめ、層雲峡や天人峡の歴史ある温泉など、豊かな観光資源があります。

南部地域には、ラベンダーと丘の風景を目当てに多くの観光客が訪れており、テレビや映画のロケなども行われています。また、アウトドアスポーツなど自然を生かした体験観光も盛んに行われています。

① 観光入込客数の概況

令和3年度の上川管内の観光入込客数（延べ数）は1,005万3千人となり、前年度（980万4千人）に比べ約2.5%（24万9千人）増加しました。

引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けましたが、昨年度に比べ、外出制限が緩和されていたことや、「新しい旅のスタイル」や各自自治体の独自のキャンペーンの成果などにより増加となりました。また三密回避による屋外需要が高く、キャンプ場やスキー場等の入込が好調でした。

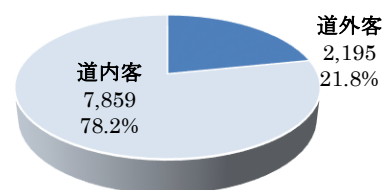


② 道外客・道内客別観光入込客数

令和3年度の道外客は219万5千人となり、前年度（242万人8千人）に比べ9.6%の減少、道内客は785万9千人となり、前年度（737万6千人）に比べ6.5%の増加となりました。

構成比では、道外客21.8%（前年度比▲3.0ポイント）、道内客78.2%（同+3.0ポイント）となっています。

〈道外客・道内客別観光入込客数〉



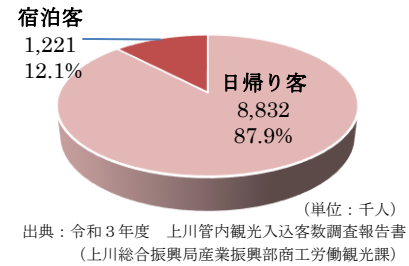
（単位：千人）
出典：令和3年度 上川管内観光入込客数調査報告書
（上川総合振興局産業振興部商工労働観光課）

③ 日帰り客・宿泊客別観光入込客数

令和3年度の日帰り客は883万2千人となり、前年度（864万2千人）に比べ2.2%の増加、宿泊客は122万1千人となり、前年度（116万2千人）に比べ5.1%の増加となりました。

構成比では、日帰り客87.9%（前年比▲0.2ポイント）、宿泊客12.1%（同+0.2ポイント）となっています。

<日帰り客・宿泊客別観光入込客数>

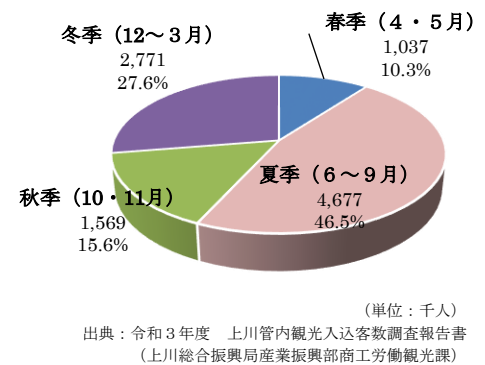


④ 季節別観光入込客数

令和3年度の春季（4・5月）は103万7千人となり、前年度（54万6千人）に比べ89.8%の増加、夏季（6～9月）は467万7千人となり、前年度（539万3千人）に比べ13.3%の減少、秋季（10・11月）は156万9千人となり、前年度（165万1千人）に比べ5.0%の減少、冬季（12～3月）は277万1千人となり、前年度（221万3千人）に比べ25.2%の増加となりました。

構成比では、春季10.3%（前年度5.6%）、夏季46.5%（同55.0%）、秋季15.6%（同16.8%）、冬季27.6%（同22.6%）となっています。

<季節別観光入込客数>



⑤ 外国人観光客数

令和3年度の上川管内における訪日外国人宿泊者数(実人数)は2,826人となり、前年度（2,279人）と比較して24.0%（547人）増加しました。また、宿泊延数は4,629人泊となり、前年度（3,866人泊）と比較して19.7%（763人泊）増加しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、わが国において検疫強化をはじめとする水際対策の強化措置が行われていたことや、多くの国で海外渡航制限の措置が取られていたことなどから、昨年度から引き続きほぼゼロに近い数字となっています。

<過去5年間の訪日外国人宿泊者数の推移>

